



今月は「シンガポール」を覚えてお祈りください

シンガポールは、東南アジアの主権都市国家かつ島国である。マレー半島南端、赤道の 137km 北に位置する。領土は、菱形の本島であるシンガポール島及び 60 以上の著しく小規模な島々から構成される。同国は、高度に都市化され、原初の現存植生はほとんどない。また領土は、一貫して埋立てにより拡大してきた。

シンガポールの経済・政治・宗教について

1965 年マレーシアから独立後に経済成長しつづけ、今や世界貿易の中心都市となっているシンガポール。世界で最も裕福な国の一つであり、生活レベルも世界最高水準である。輸出国としての経済活動を展開しており、多くの産業において外国人労働者に依存している。

シンガポールは 1824 年～1959 年までイギリス統治下にあった。その後 1959 年～63 年までは自治体として、また 1963 年～65 年まではマレーシアの統治下にあった。強く温情主義的な政府をつくりあげた初代首相リー・クアンユー氏は政治的にも経済的にも安定した政権運営を続けた。現在の首相は彼の長男リー・ションロン氏である。

シンガポールでは信教の自由が認められている。しかし様々な宗教が互いに和合して暮らせることを考慮して、宗教間での対立をおおるような活動などを禁ずる法律が制定されている。したがって、イスラム教を信じている人に対して公に福音を証しすることは法律違反となるので、伝道には知恵を必要とする。

シンガポールのその他の情報

面積:699 km² (日本の約 0.2%) 人口:4,836,691(日本の約 3.8% 2010 年時点)

宗教:	
仏教	40.30%
無宗教	18.06%
キリスト教	16.04%
イスラム教	13.90%
中国宗教	7.00%
ヒンズー教	4.10%
シーク・バハイ	0.60%



セントラル地区のダウンタウン・コア



シンガポール港



春節のチャイナタウン

「神よ。国々の民があなたをほめたたえ、国々の民がごぞってあなたをほめたたえますように。」 詩編67:3

祈禱課題

福音が行き届いていない人々を覚えて

50 万人はいるとされているマレー人。彼らは生まれながらのイスラム教徒である。40 万人に上るインド系(タミル人)民族。この民の 50%はヒンズー教に属しており、25%はイスラム教徒である。中国本土からの中国人は 20 万人おり、彼らの大多数は福音を一度も聞いたことがない人々だとされている。このほかに移住者や移住労働者の数が増えており、シンガポールの労働人口の 33%を占めている。彼らの出身国は様々だが、それぞれのグループに小さな教会や働き手が必要である。

大きく成長しているシンガポールのキリスト教会を覚えて

教会は 1970 年からスムーズに成長し続けており、実に 1960 年から 2010 年の間にクリスチャン人口は 20 倍になったとされている。13 人のうち一人はクリスチャンである。教会には祝福と課題がある。シンガポールのクリスチャンの中には裕福であることが霊的であると考える人が少なくない。例えば、男性は結婚してしまうと教会活動に消極的になりがちで、その代わりに社会的なステータスを追い求めていく傾向が強い。また霊的な高慢もあり、貧困層や低賃金の労働者たちは伝道活動の対象にならないことがある。多宗教の文化にあって伝道することが困難であり宣教活動に積極的でないクリスチャンも多い。

その他の教会の課題のために

シンガポールの出生率はアジア圏でとても低い。若い夫婦は子どもをもつことよりも、キャリアを求めている。このような社会でクリスチャンが仕事と家族と信仰生活のバランスを保つことが必要だ。先進国での問題である離婚、鬱、非行青年たち、ドラッグやギャンブル依存などはシンガポールにも影を落としている。このような問題解決のためのミニストリーが多く必要である。シンガポールには世界有数のすばらしい聖書学校がある。教会の指導者たちに神のみことばによる知恵が豊かに与えられ、教会が世の光、地の塩としての役割を十分に果たすことができるように。